

第2回

「電気のふるさと」 フォトコンテスト

審査 結果



Denki-no-Furusato Photo Contest 2011



総評

今回のコンテストは昨年
に続き第2回目であり、コン
テストの趣旨が徹底したこと
から昨年以上に優れた作品
が見られた。コンテストで
求めている電源地域は限ら
れた地域であり、その地域
内で撮影となるが、応募
作品には下調べをして人々
の生活やその地域での祭り
と特有の風景を見詰めての
撮影など苦勞の跡が見られ
た。今回の入賞作品はいず
れも光と気象条件を見極め
てのものであり確かなカメ
ライが光った。



「寒風の中で」 小椋 利昭さん

撮影地域：千葉県四街道市

裸祭りのクライマックスの場面である。無病息災、五穀豊穡を願っての村祭りであり、水を張った泥田の中での激しい騎馬戦である。画面中央に男たちの戦う姿を配置して視線を集中させる構図が成功している。背景の観衆を明るく描写し、日影の、男達との明暗差で浮き上げた描写が見事である。



「黄昏の棚田」 中村 昭夫さん

撮影地域：三重県熊野市

高いカメラ位置により1,200枚の棚田が光り輝いている。空気の澄んだ日に夕焼け空に向かっての撮影が適切であり、部分的にピンク色に染まった棚田を美しく描いている。縦位置画面で棚田を大きく扱い、夕焼け空をわずかに見せた画面構成が成功している。



「静寂」 鹿島 和生さん

撮影地域：佐賀県佐賀市

早朝に朝もやの中で魚釣りをしている人をアクセントにし、鉄橋を画面上部に大胆に斜めに配置している。視線は橋に沿って対岸の丘に注がれるが、丘には朝霧がかかりピンク色にぼんやりと見えている。朝焼けの丘に霧のベールがかかることで神秘的な美しさが高まった。

選評 審査委員長 森村 進さん

東京都出身。日本大学卒。カメラメーカー勤務を経てフリーになる。各地の写真愛好家の指導に当たるいっぽう風景写真をテーマにした作家活動を積極的に行っている。

国内での写真展「花火曼荼羅」(ニコンサロン)、「大空と大地のコンチェルト」(ニコンサロン)をはじめ「日本の花火」をニューヨーク、チューリッヒ、北京で開催。

著書は「35ミリ一眼レフカメラ塾」「デジタル一眼レフの極意」(学習研究社)「ネイチャーフォト自由自在」(毎日新聞社)など多数。日本写真家協会(JPS)会員。

